

## 活動報告

## 各地区で推進員研修会を開催しました



キッチンでできるアクションシート

7月23日から8月10日までの6日間にわたって開催された推進員研修会には計77名が参加しました。

第1部では「推進員に期待される役割と活動」について片亀副センター長が説明。冒頭で今年の異常気象に触れ、地球温暖化の緩和策に加え、適応策の必要性について説明しました。

その後、推進員の活動を5つのステップにわけてお話ししました。片亀家の環境家計簿を例に挙げ、温暖化防止の取り組みを水道光熱費の削減と結びつけ、家計のメリットにつながることを強調するなど聞き手が納得しやすい工夫に

についても触れました。

第2部では、今年度、群馬県で重点的な取組を推進している「キッチン」でのエコについて、推進員の内山恵子氏、高橋文子氏、梅山さやか氏の3名からお話しいただきました。「キッチンでできるアクションシート」を用いながら、出前講座で伝えるポイントや知っておきたい豆知識などを紹介。また、講師が日頃から実践しているエコ活動も披露していただきました。



内山講師



高橋講師



梅山講師

目次	活動報告 - 1, 2 -	県からのお知らせ - 5 -
	推進員活動報告 - 3, 4 -	イベント情報、エコサポからのお知らせ - 6 -

## 大盛況！牛乳パックでブーメラン作り体験 ～「夏とくイベント2018」に出展しました～

日時：7月31日(火)  
午前9時30分～午後4時  
場所：群馬県生涯学習センター少年科学館  
来場者：2,764名（イベント全体）

子どもたちに科学の楽しさを実感してもらおうと開催された「夏とくイベント2018」。エコサポでは、昨年に引き続き牛乳パックを使ったブーメラン作り体験を行いました。

午前中の来場者が多く、ピーク時には順番待ちの列ができるほどの大盛況ぶりでした。

子どもたちはブーメランに色を塗ったり、思い思いの絵を描いた後、早速ブーメランを飛ばし、自分のところに戻ってくるかどうか試していました。

なかにはブーメランを何度も飛ばして、よれてしまったからとブーメラン作りに再チャレン

ジする子もいました。

家族連れで来場された方も多く、何名かの親御さんにはクールチョイス宣言にもご協力いただきました。



## 第1回群馬県地球温暖化防止活動連携会議を開催

日時：8月3日(金)午前10時～正午  
場所：群馬県庁16階161会議室  
出席者：17名

会議の冒頭で、構成員の自己紹介と各地域の活動報告が行われました。その後、片亀副センター長から、今年3月にセンターが移転し、職員が交代したこと、また、センターの今後の運営体制等について触れました。

最も時間を費やしたのはスマートムーブに関する意見交換で、県内路線バスのオープンデータ化に着目しつつ、交通弱者への対応に関する情報共有や提案、また、この会議での着地点をどこに求めるかなど意見が交わされました。



## 「スマートムーブ講師養成講座」を開催

日時：8月29日(水)午後1時～4時  
場所：群馬県公社総合ビル2階第5会議室  
参加者：7名

スマートムーブをテーマとした今回の講座では、群馬県交通政策課の松田隆行氏と群馬大学教育学部教授の西園大実氏の二人をお招きし、お話をいただきました。

松田氏の説明の中で、県内路線バスのオープンデータ化と県内バス利用アプリは今年度末には実現するとのことでした。

西園氏からは、ロードバイク2台と折り畳み自転車1台を持ち込んでの実演を交えてお話いただきました。

最後に片亀副センター長から「エコドライブとエコカーの選択」について説明がありました。

今回の参加者はやや少なめでしたが、今後もスマートムーブに関する出展等も行う予定ですので、皆様のご協力をお願いします。



## 利根沼田地区

### 「環境と森と木のまつり」に出展（8/11）

県立森林公園・21世紀の森において8月11日に開催された第3回山の日記念「21世紀の森まつり」のイベントとして行われた“環境と森と木のまつり”に出展参加しました。

地球温暖化やクールチョイスなどの手作りのパネルを展示すると共に、炎天下、来場者に3Rの取り組みを呼びかけ、多くの方々から賛同を得ることができました。快く賛同してくれた皆さんからは「買い物はマイバックを利用している。」「生ごみは畑などに埋め堆肥にしている。」など、日頃の実践例を聴取することができました。反面、群馬県は生活系のごみ排出量が10年連続して全国ワースト1位という、実態を知らない方もおられました。

子どもたちを対象に設けた「発電体験コーナー」では、水力や風力など、自然の力を使った発電を体験していただき、子どもたちにとっては、夏休みのすばらしい思い出となったものと思います。ソーラーカーも、子どもたちに大人気でした。

地球温暖化に関するクイズを交えた手づくりの紙芝居では、2100年の日本の夏の予想最高気温は、例えば東京では44℃になると話しかけると、「え、ホント？」と、子どもたちはビックリ。

一方、保護者は「今後も猛暑が続くならば、十分考えられる」とうなづいていました。

そのほか、日ごろ各推進員が取り組んでいる里山の恵みを活かした「ストラップ作り」や「もったいないバザール」「食器の無料配布」などを行いました。



### 第11回ぬまた環境フォーラム（6/24）

ぬまた環境ネット主催「第11回ぬまた環境フォーラム」が6月24日（日）、沼田市保健福祉センターで開催されました。環境フォーラムでは、ぬまた環境ネット加盟団体が、日頃の活動状況をパネルで紹介したり、体験教室などを設けて来場者に楽しんでいただきました。

数年前から沼田市では、消費期限の過ぎた食用油や使用済みのてんぷら油などを回収しています。これらの廃食油を使って、石けんづくりを行いました。廃食油の石けんは、手も荒れず汚れが良く落ちると好評です。ペットボトルに水と苛性ソーダと廃食油を入れて、振ってかき混ぜると乳白色の石けんに早変わり。子どもたちに、固化した石けんは、翌日にペットボトルから取り出して使うように教えました。

昨年、沼田市開催のクリスマスワークショップに招いていただき、親子20人参加のもと、廃食油でキャンドルづくりと松ぼっくりやツルなどを用い、クリスマスツリーづくりの指導を行いました。子どもたちの豊かな感性とアイディアにより、オリジナルのローソクとツリーを完成させました。

これからも、親子で楽しんでいただける体験教室を行ってまいります。



## 【吾妻地区】第38回高山村ふるさと祭り

日時：8月14日(火)午後3時～5時  
場所：高山村いぶき会館イベント広場

高山村ふるさと祭りが8月14日、いぶき会館駐車場で開催されました。高山村環境inもったいない推進委員会でエコに関する「マイ箸」「ウチワ」「ペットボトル風車」づくりを体験できるコーナーを設置し、皆さん熱心に作り、喜んで持ち帰っていただきました。また、普段から取り組んでいるエコキャップの回収やエコポイントカードと賞品の取替などを行い、村内外からたくさんの来場者がありました。



## 【出前講座報告】

日時：7月17日(金)17:30～18:30  
場所：太田記念病院  
対象：太田記念病院職員  
講師：三牧 文雄氏  
テーマ：温暖化の現状と影響、最近の気候変動、緩和策と適応策、クールチョイス、省エネ、エコドライブなど



太田市の「太田記念病院」（病床数404床）で、約70人の職員を対象に出前塾を行いました。「しっかり省エネ、守ろう暮らしと地球」と題し、古代における燃料や用材としての森林破壊が文明衰退を招いたこと、現在も化石燃料（地中の過去の森林等）によるCO2増加が気候変動の要因であることを踏まえて、省エネや影響緩和について、日頃の工夫や取り組みの大切さを話しました。同院ではエネルギー原単位年1%以上低減を目標に熱心に活動を進めており、出前塾ののちに実績報告と今後の方針が示されました。

日時：7月29日(日)10:30～11:10  
場所：前橋商工会議所  
対象：東洋大学南水会群馬県支部  
講師：原田 邦昭氏  
テーマ：地球の温暖化、ごみ減量、3キリ運動、クールチョイス



東洋大学の在校生の保護者の会で、40～50代の男女の集まりでした。女性が3分の2程で、男性は少なかったです。

地球の気候変動、温暖化、ゲリラ豪雨、猛暑の話をする、皆さん頷きながら話を聞いて頂けました。冊子のスマートライフについて話すと自宅でもやってみようと言っていました。クールチョイス出前講座、環境GS推進員派遣の説明をすると知らなかったと言う人がほとんどでした。環境については関心はありましたが、温暖化の原因が温室効果ガスであること等、温暖化に関して詳しく知っている方は少なかったです。

最後に家庭でできる省資源の実践をして頂くようお願いして終わりました。

## 家庭部門の温暖化防止対策について



地球温暖化防止活動推進員の皆様には、日頃、ご自身で温暖化防止対策を実践していただいているほか、身近な方への地球温暖化及びその対策の啓発、各種イベントでの普及啓発等にご尽力いただき、深く感謝いたします。

今年度、県では家庭部門の温暖化対策として「台所」を重点項目の1つとしています。

食事は誰もがほぼ毎日しており、台所からは家庭の中でも多くの二酸化炭素が排出されています。そこで、毎日の「食」の場面で誰でも取り組める温暖化防止行動を、推進員の皆様に出前講座や身近な人に伝えていただき、家庭部門の温室効果ガス削減を推進したいと考えております。

このため、推進員の方を対象にした研修では、「出前講座で伝えたい『キッチンでのエコ』」をテーマに、既に出前講座等でキッチンでの取り組みを紹介されている3人の方を講師に迎え、講義をお願いしました。

以前、温暖化防止活動推進センターで作成したリーフレット（キッチンでできるアクションシート）などを用い、調理実習のない講義形式での講座の進め方や伝え方の工夫などについて研修を行っていただきました。

「買い物」「調理」「片づけ」など食事に関わる場面ごとに、ちょっとした工夫や心がけでエネルギーや廃棄物が減らせることを県民の皆さんにお伝えするため、講師の方が使用している資料や小物も紹介していただきました。

研修で使用したリーフレットは、出前講座でも使っていただけますので、ご希望の方はセンターにお問い合わせください。

また、研修にはご都合が合わず出席できなかった方も、研修講師が担当する講座を見学いただけるよう、出前講座の依頼元に了解いただけた場合には、皆様にお知らせしますので、参考にしてください。

推進員の皆さんにとっては当たり前で、以前から実践されていることでも、県民の中には知らない方も多いと思います。また、台所での取組は、一つひとつは小さなことですが、みんなで取り組めば大きな意味を持ちます。

研修では「出前講座で伝えたい」としてありますが、出前講座でなくても、ご家族、ご近所の方など身近な人たちに伝えてください。

また、出前講座をしていただける方は、ほかのテーマで話される場合にも、始めの5分間だけでも、講座の中に「台所での取組」を取り入れていただき、お伝えいただけますようお願いいたします。

引き続き、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(環境エネルギー課)